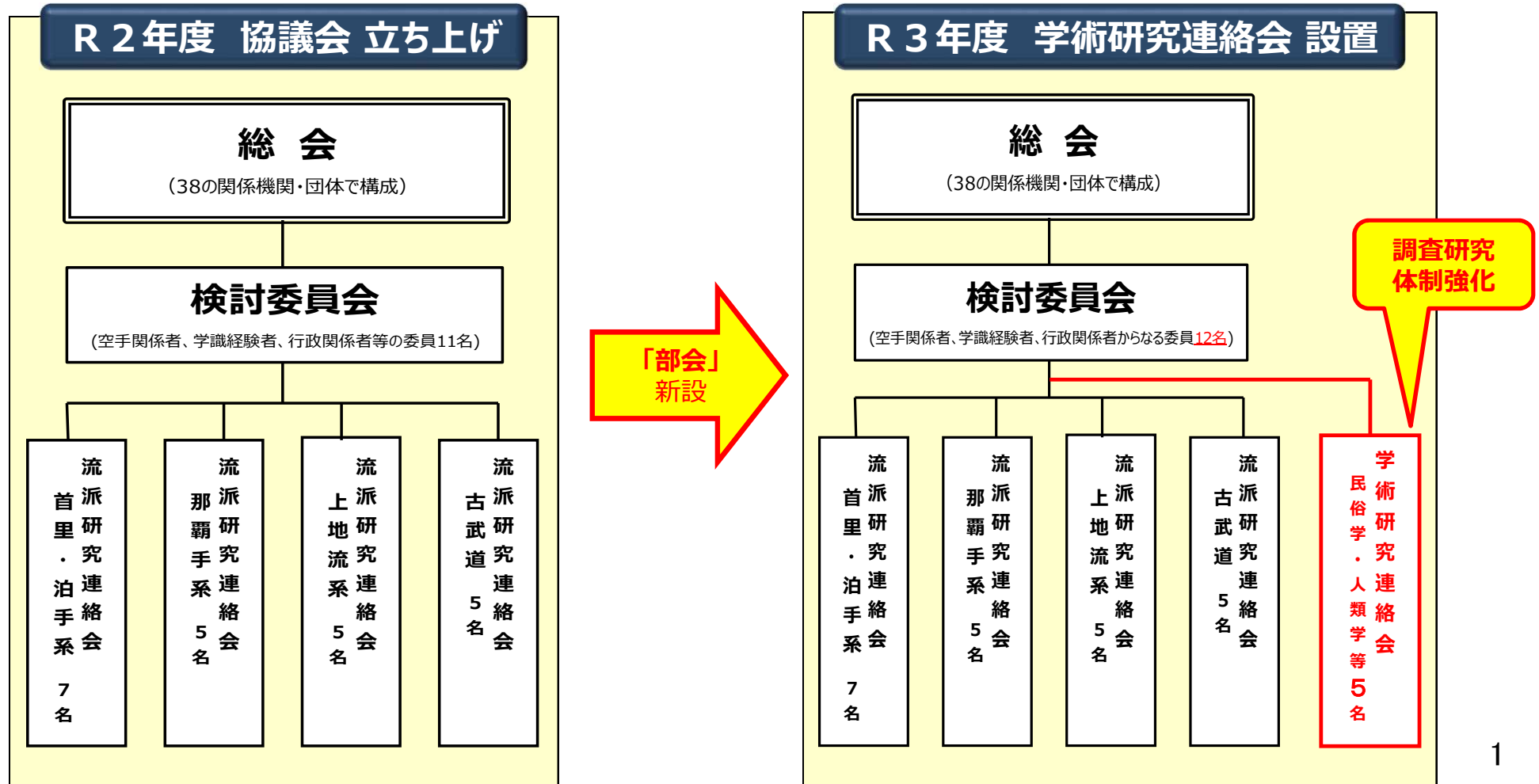


① 学術研究連絡会の設置による調査研究体制強化

- 令和2年度の協議会の部会（検討委員会等）において、沖縄空手は平和を尊ぶ精神性や地域社会・県民生活と密接な関わりを持つこと等の特徴とし、ユネスコの登録基準に示されている「口承の伝統・表現」、「社会的慣習・儀式・祭礼行事」、「芸能」等の分野に幅広く該当する無形文化遺産である旨の検討結果が取りまとめられた。
- また、現在、国（文化庁）においては、これまで無形文化遺産の提案対象としてこなかった「生活文化」の分野（茶道、書道、和装等）を新たな提案対象とする方向で検討が進められている。
- これらを踏まえ、協議会に民俗学や人類学等の学識経験者で構成する部会を新たに設置し、沖縄の地域社会に密着した「生活文化」という視点から沖縄空手関連の学術研究を更に深め、早期の登録実現に繋げていくこととした。



② 学術研究連絡会の委員等

○沖縄の地域社会に密着した生活文化という視点から沖縄空手に関する学術研究を深めていくため、必要な専門性や知見を有する次のア～エに該当する者を委員等として選任

- ア 文化財保護行政に精通している者
- イ 民俗学、人類学（文化、社会）に精通している者
- ウ 集落社会の現地調査（フィールドワーク）に精通している者
- エ 大学、研究機関、民俗学等の学会等に所属している者

委員（5名）

役員名	所属	役職	氏名
部会長	沖縄民俗学会	会長	萩尾 俊章
委員	琉球大学国際地域創造学部 地域文化科学プログラム	教授	萩原 左人
"	沖縄県立芸術大学 芸術文化研究所	所長	久万田 晋
"	琉球大学国際地域創造学部 地域文化科学プログラム	准教授	神谷 智昭
"	沖縄県立芸術大学 音楽学部音楽文化専攻沖縄文化コース	講師	神谷 武史

アドバイザー（2名）

所属	役職	氏名
東京文化財研究所 無形文化遺産部無形民俗文化財研究室	室長	久保田 裕道
富山大学 芸術文化学系	講師	田邊 元

- ア 沖縄県内のムラ社会（共同体）で伝承されている「武術的身体操作・表現」の現状や役割を把握するための調査について
（※県内全市町村の文化財保護担当者へ協力を依頼して基礎調査を実施）
- イ 戦後の地域社会における「まち道場」の役割を把握するための調査について
- ウ 前記ア及びイの調査に係る実施体制について
- エ その他、登録に向けて検討が必要な事項について

④ 学術研究連絡会等の開催状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総会		● 第3回 (書面開催)				● 第4回 (書面開催)
検討委員会	● 第1回 (10/20)				● 第2回 (2/25)	
学術研究連絡会		● 第1回 (11/29)	● 第2回 (12/24)	● 第3回 (1/28)	● 第4回 (2/22)	

※学術研究連絡会の設置に係る協議会会則改正は11月22日付け